



# いせしん

第27号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

伊仙町議会だより



「普天間第三小学校での授業中の一コマ。戦闘機が飛び立とうとしている。」

総理も訪れた「嘉数高台」において、普天間基地の説明を受ける。

## 世界一危険な基地「普天間基地」 (写真提供：沖縄タイムス)

### 目次

- 第2回定例議会の議決状況…………… P 2
- 一般質問…………… P 3～5
- 米軍基地調査報告並びに農業関連所管事務調査報告…………… P 5～7
  - 普天間基地、嘉手納基地調査報告
  - 農業生産所得向上調査特別委員会所管事務調査報告
  - 辺野古地区調査報告
- 第53回奄美群島市町村議会議員大会…………… P 8
- 議会の動き・編集後記…………… P 8

## 平成22年 第2回伊仙町議会定例会 全議案(会期6/15~18)

番 号	議案等	採 決 結 果
承認第1号	伊仙町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承 認
承認第2号	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承 認
承認第3号	平成21年度伊仙町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認	承 認
承認第4号	平成21年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)の専決処分の承認	承 認
承認第5号	平成21年度伊仙町老人保健特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認	承 認
承認第6号	平成21年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	承 認
承認第7号	平成21年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	承 認
承認第8号	平成21年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認	承 認
承認第9号	平成21年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	承 認
承認第10号	平成21年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	承 認
承認第11号	平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認	承 認
報告第1号	平成21年度伊仙町一般会計予算繰越計算書	可 決
報告第2号	平成21年度伊仙町簡易水道特別会計繰越計算書	可 決
議案第25号	伊仙町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議案第26号	伊仙町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議案第27号	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	原 案 可 決
議案第28号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議案第29号	平成22年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議案第30号	平成22年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議案第31号	平成22年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
同意第4号	監査委員の選任	同 意

## 平成22年 第2回伊仙町議会定例会 陳情・発議一覧

番 号	件 名	採 決 結 果
陳情第11号	法務局出張所統廃合に関する陳情書	採 択
陳情第12号	徳之島高等学校に養護学校分教室の設置を求める意見書の提出を求める陳情書	採 択
陳情第13号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	文 書 配 布
発 議 第 8 号	徳之島高等学校に大島養護学校高等部分教室の設置を求める意見書	原 案 可 決

# 一般質問



佐藤議員

## 《教育行政について》

**問** 幼稚園に延長保育を望む声が多いが、我が町ではできないのか。

**答** 町内の幼稚園に延長保育のアンケートを実施した結果、ほとんどの家庭で延長保育を望んでおり、検討委員会を設置し、財政当局と協議した結果、平成22年9月から実施予定です。

## 《建設事業について》

**問** 西部地区の住宅建設について、場所・戸数・いつ頃から着工予定か。

**答** 平成23年夏頃に犬田布地区の亀の戸に14戸を初め、西犬田布地区、木之香地区、糸木名地区に30戸を予定しています。

## 《犬田布小学校の教員住宅(校長住宅)整備について》

**問** ほとんどの教員住宅にはテラスが付いていますが、校長住宅にはついてなく、この梅雨時期になると、特に不便をきたしておりますので、整備してもらえないか。

(答) 平成26年度に立替への予定で、現在財政上厳しい状況にありますが、財務担当と協議しながら、検討させていただきますと思います。

## 《パスポート申請について》

**問** パスポート申請について我が町も年々、海外旅行へいく数が増加の傾向にあります



美島議員

## 《徳之島への米軍基地移設について》

**問** 反対活動への援助(看板等)の設置はできないか。

**答** 今のところ「自然と平和を守る会」が中心となってボランティアで活動しています。が、首長や議員が政府等への抗議に行ったりする費用は各町から出ますので、今後も反対活動は続いていきますので、特別な支援金等が必要ないと思えますが、3町が足並みを揃えて「基地移設断固反対」ということで3町連盟が看板を立てるということは、非常に正しいと思えますので、3町で協議をしてまいりたいと思えます。また、多忙な中行政への支障もきたしておりますが、電話や励ましの手紙、ハガキ等相当来ていま

が、他の町みたいに役場内で申請業務はできないのか。

**答** 徳之島町を初め、県内13市町村の役場内で申請ができ、今年8月から9月にかけて県との協議に入り、平成23年4月から申請できるように取り組んでまいります。

す。危機的な状況でありますので、こういう時だからこそ「共生」「協働」という観点からいたしまして、町民の皆さんや議会、職員が一丸となって全力で取り組んで行かなければならない、自立しなければならぬという考えに変わってきたと思えます。いろんな良いイメージで徳之島を発信できるチャンスでもあると思っております。

## 《農業振興について》

**問** 宮崎県で発生した口蹄疫に関連して伊仙町での対応は。

**答** 肉用牛の飼養農家へのパンフレットの配布や防災無線での予防等に関する呼びかけをいたしております。また、把握できている肉用牛舎、豚舎の全ての消毒を実施しております。5月セリ市での本町農家の売上げ予定額が去勢で271頭、3月セリ市での平均価格を乗じた金額で、8753万円、雌牛が202頭で、3月セリ市で

の平均価格が26万円です。で、5252万円、合計1億4千万円が農家に入る予定の金額です。7月セリ市の見通しは立っていません。今後の農家支援といたしまして、5月セリ市予定の473頭に飼料を2袋配布します。7月のセリで12ヶ月になる予定の186頭に対して、上限5万円として助成をする予定で、補正予算に計上いたしてございます。農協の方は、飼料2袋と無利息で去勢20万、雌牛15万円を融資しております。また、消毒薬の配布も行っております。

**問** 伊仙町農業振興計画について、議会においても、農業生産所得向上調査特別委員会を設置して、農業生産額50億円達成に取り組んでいるところですが、口蹄疫問題、さとうきびの減収、奄振予算の大幅削減など農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。今後の対応と目標達成の計画はあるのか。

**答** 農業改良普及所や、農業開発センターの技術員との連携を図りながら4Hクラブ、認定農業者、農家への栽培技術の研修等を実施して、高レベルの農家を育てていく必要があると考えております。各種協議会や部会等との意見交換や新規作物開発チーム、土壌検査の実施をやつて

いるところです。直売所「百菜」の状況は、165名の組合員で常時出荷している人は50名で、平均で3万円くらいの手取りです。年間の売上げを1億円以上の計画をしておりますが、6千5百万位だと思えます。運営は厳しい状況です。農高跡地利用計画については、鹿児島大学、鹿児島県工業クラブと包括連携協定を結んで、地域経済の活性化と町興しを目指してまいります。鹿大の学生による町民からの希望等アンケート調査を9月から実施いたしました。結果報告を受けた後、跡地利用検討委員会に諮ってまいります。



永田議員

## 《農業生産額「50億円」達成に向けて》

**問** 現在、口蹄疫問題で子牛セリ市が延期され、開催されていない現状であります。それに伴い、畜産農家においては、子牛セリ市が再開しなければ収入もなく、飼料代などの支出が発生し、とても苦しい現状であります。私達伊仙町では、畜産農家にどのような取り組みをしていくのか。

また、口蹄疫の問題で徳之島の伝統文化であります、闘牛を飼育されている方々への行政の対応はどう考えているのか。

答 口蹄疫に関しては、都城で発生したのを受けて種牛が島に入ってくる事や、闘牛協会と行政で話し合いを行った結果、万が一島で発生したら、闘牛の歴史や伝統文化はなくなるので対応できないということで、闘牛協会は反対しました。また、口蹄疫に伴う、畜産農家支援策としては飼料代やセリ市再開後、子牛価格が低下した場合の補填として、6月補正にて、2ヶ月分のみ組んでいて、万が一7月も再開されない状況であれば、更に補正予算を組む方向であると考えています。

問 《環境問題について》 家庭用排水についてですが、私達伊仙町でも、まだ家庭用排水などが、畑に流されている現状ですが、そのような箇所を行政側として、改善する意向はあるか伺います。

答 環境対策の観点からも、これまでも建設課においては、集落内の排水路整備については鋭意進めてきたところではございますけれども、未だに整備率が低く、今後も計画的に進めていかなければならないと考えているところがございます。ちなみに、平

成14年から、平成21年までに数にして20路線、距離にして5000mの排水整備を行ってきましたけれども、この排水整備については、集落からの要望も数多く寄せられております。今後とも、鋭意努力してまいりたいと思っております。



伊藤議員

問 《農業、畜産振興について》 農業生産額50億円達成するのには、農家に意欲を持たせる為に、どのような指導をして、また今後の支援策はあるのか。

答 Iターンで帰ってきた農家の方々との交流会がありまして、他品目、例えばトウガラシとゴマを生産し、かなりの所得が、向上しているという話もあり、農家の方々が意欲を失わないように、更にやる気が出るような形で研修など、いろんな事業を今後積極的に進めていきます。

問 《法務局出張所統廃合について》 去る5月19日の奄美群島市町村議会議員大会において、法務局出張所存続に対して、提案理由の説明がされましたが、町としての対策はあ

るのか。

答 本土と離島を同じ基準で、同じ人口割ですということのは非常に間違いである、離島の特殊性を理解してほしいという事で、強くこの事には抗議致しました。徳之島3町の会合がありますので、その中でも提案します。県や国の法務大臣宛に署名活動を早急に対応します。

問 《環境行政について》 クリーンセンターに設置された、廃プラスチック油化装置の稼働状況と実績はどうなっているのか。

答 4月20日付で、経済産業省の方へ無償貸付の許可申請をいたし、経済産業省の方から正式に許可がおり、プラントの能力として、1時間に10リットル油化が可能ということでした。



琉議員

《混迷する米軍基地移設問題について》

問 沖縄県民の怒りと徳之島島民の声は、一国の総理大臣の辞任まで追い込む大きな問題となりました。鳩山前総理の辞任問題にまでなった米軍基地移設問題、鳩山政権を相

承する菅直人新総理に対して、伊仙町民の代表として、大久保町長は今後の対応をどうするののか。

答 まず、5月28日に日米共同声明の中に、徳之島が明記され、住民の絶対的な民意を無視する日本政府案に対して、徳之島案を削除するように抗議する段取りをしております、アメリカ政府は、地元の合意がなければ、非常に困難であると主張しております。新しい菅政権も普天間問題は非常に慎重で、長期的な交渉になっても、私達地元が一致団結をすれば、徳之島に基地を造らせることはできないと確信をしております。

《大久保町長のマニフェストについて》

問 2期8年間の実績を基に、3期目に向けて100項目のマニフェスト（政治公約）を掲げましたが、どれだけ実現可能なのか。

答 先日、第1回検証委員会にあたり、分かりやすい町政、住民が主役の町政、更には産業振興、「輝くまちづくり」で共生ということを掲げ、継続中の事業、今後絶対しなければならぬ事業を、堅実な形のマニフェスト実行を4年間の中で着実にしていくことが、町民の方々のご理解を深めていけると思っております。

《町財政の事業仕分けの必要性はないのか。》

問 予算ヒアリング時での総務財政と各課が充分な連携がとれて、仕分けはできているのか。

答 予算編成については、各課とのヒアリングを充分に行い、町民からの要望を踏まえ、重要性のあるもの、優先性のあるものや重点的に優先順位を付けて、マニフェストに則って予算計上しております。各種団体等への補助金等も、決算書から前年度対比、また厳しい予算の中で、効果的な事業等を事業仕分けしながら、予算編成を行っております。

《建設行政について》

問 まちづくり交付金事業「ほーらい館」を初めとし、各地区に公共住宅や、面縄・犬田布・伊仙の3小学校建築等、必要なインフラ整備には高く評価をいたしますが、完成後の管理はどうなっているのか。

答 建物の施行後の管理については、保証期間内の補修工事等、業者の責任において補修工事を行っております。

問 《農業生産額50億円達成に向けて》 今年3月に伊仙町農業振興計画書を発表いたしました。現在伊仙町においては、農業生産額が40億円ほどあり

ますが、約10億円アップについては、どの様に取組んでいくのか。

答 伊仙町の農業の基本は、主要3品目、基幹作物のさとうきび、ばれいしょ、畜産の単収アップで増収に向けて安定をさせ、その後、多品目栽培、産地指定の為に1億円の売上げが持続する様に指導し、品目はかぼちゃ・にんじん・しょうが・スイートコーン・枝豆・オクラ等を基本的な指導をしながら伸ばして、新たなコーヒー・ゴマ・トウガラシ・長命草等の品目についても可能性が出てきていると思います。

《特別養護老人ホーム「仙寿の里」の増床は》

問 介護福祉の充実が求められる現在、未だに介護施設入居待機者が多い伊仙町において、介護施設の建設を行う予定はあるのか。

答 高齢化率33・72%で介護施設入居待機者が130人余りの中で、介護基盤緊急整備事業で、施設整備要望書が社会福祉協議会から町を経由し、5月11日に県へ申請されておりです。現在、34床の「仙寿の里」を増床16床とする計画であり、県からの事業認定を待っているところでありです。

《犬田布中学校校舎建築始まる！》

今年で創立62年を迎える犬田布中学校。校舎の老朽化に伴い、今年度から始まる工事着工前に起工式が6月3日に行われ、安全祈願を目的とした神事に町議会議員も工事関係者と出席しました。新校舎の設計コンセプトは、犬田布中学校の歴史と教育的伝統を踏まえ、生涯学習の観点にたつて、主体性、創造性を備え特色ある教育活動のもとに、生徒の生きる力を育む、地域に開かれた学校を設計趣旨としている。特に、環境面でも配慮された構造となっており、将来太陽光発電能力を備える事が可能とし、CO2削減を考慮し、普通教室には、LED照明の仕様を取り入れ、次世代の環境に配慮した施設になる。

《建築概要》

工事名称… 伊仙町立犬田布中学校

校舎建築工事

構造… 鉄筋コンクリート造

規模… 2階建て2棟・渡り廊下

延床面積… 2,150.00㎡

総事業費(建築)… 6億8,400万円

完成予定(※工期)… 平成23年3月10日



米軍基地調査報告並びに農業関連所管事務調査報告書

普天間基地、嘉手納基地調査報告

（発表者…美島 盛秀議員）

米軍普天間飛行場（基地）の移設候補地に、徳之島案が明らかになった1月以来、一部地元関係者の言動が徳之島を揺るがしている。3町長は断固反対で、3町議会も断固反対の決議をしました。新聞、テレビ報道でご存知のとおり、島を挙げての反対運動が展開されており、私達伊仙町議会では、現地調査が必要であるとの共通認識のもと、去る5月28日から3日間現地調査をしてまいりました。6月17日には地域住民への報告会をいたしたところでございます。（米軍普天間基地とは）1945年（昭和20年）に米軍沖縄上陸、日本本土を空爆するため、B-29爆撃基地として建設、宜野湾市の人口92,813人の密集する市の中央にあり、基地被害は計りしれません。

騒音は時間に関係なく発生し、年間2万回を超えている。被害は多岐に渡っております。さらに、米兵による事件・事故は後を絶たず、大・小年1000件を超えると言われております。海兵隊員が、12,402人が常駐、常駐機が88機あり、うち52機が常時訓練飛行をしており、所属機は老朽化して危険性が高いそうです。海兵隊のほかに、軍人、軍属約2,000人、基地従業員は200人（宜野湾市民は39人）。このことから雇用人口が増えることは考えられません。

日米合意事項が遵守されないため、事件・事故が多く、健康状態への影響、幼児問題行動への害、青少年の非行、項目を挙げればその他たくさんあります。特に、普天間第二小学校への影響は大であり、女子児童からの聴き取り

で、毎日何回か飛行機が飛び立ち、騒音がひどく、そのたびごとに耳を押さえ、先生も話しを止めるそうです。1年に何時間、6年間にはどれだけの授業の遅れが出ている事でしょう。

普天間第二小学校だけではありません。中学校・高校・その他121箇所の公共施設等があります。害はあってもメリットはない。また、ある地域では800億の振興策があっても、そのうち基地にとられ農業所得が下がり、過疎は進み、施設等の整備はされても人口増にはつながらないとのこと。

基地で潤うということはありえないことで、振興策があっても14年間何の効果もない日米地位協定により、事件等の解決もむずかしいとのことでした。

基地関係の地主は3, 137人で年間66億4千7百万円が賃貸料として支払われており、1人あたり平均約211万9千円だそうです。

基地関係者の話では、県や市が計画している跡地利用計画に向けて交渉中（話し合い）で、基地周辺が坪単価30万円以上であることから用途はたっていないそうです。

市の財政と基地関係では、基地交付金と調整交付金が交付されており、米軍や自衛隊の施設、米軍の資産には課税ができません。20余りの市町村に面積の割合で補填されるもので、基地交付金が1億2千300万円、調整交付金が4億37万1千円（平成21年度）です。合計5億3, 037万1千円。



その他、多くの補助率の高い対策事業等が多数あります。が、事業の費用対効果はあまりないとのこと。維持管理費等で財政を圧迫、振興策は名ばかりで、一部大手業者が儲かり、地元業者の倒産も多いそうです。日本一生活保護世帯も多いそうです。

嘉手納基地も普天間基地と同様の昭和20年に整備拡張が行われ、弾薬庫や各種兵器の貯蔵庫や多くの施設があるそうです。生活環境や都市基盤

整備、産業の振興に大きな制約になっているそうです。

視察中にも戦闘機が2機ずつ、2回4機が飛び立っていきましたが、騒音にはびつくりしました。

結びに調査を終えて感じたことは、「後悔先に立たず」この言葉を改めて考えさせら

# 農業生産所得向上調査

## 特別委員会所管事務調査報告

（発表者：琉理人 議員）

5月28日、沖縄県読谷村の農業組合法人 読谷果樹生産組合の森根さんのパイヤ栽培の視察調査を行いました。

沖縄中部農業改良普及センター職員による現地説明を受けたながら、生産農家の森根さんの説明を頂きました。沖縄中部農業の概要は、4市3町3村の都市部と農村部が混在する地域で、販売農家は1900戸、農業就業状況は4, 346人、その内60歳以上52.2%、65歳以上が41.7%を高齢化が進行している。耕地面積3, 040ha、畑2, 730ha、水田40ha、樹園地102ha、

戦を経験された先輩や戦死された天国の多くの人々が、どれだけ悲しい想いをされているか、私達は島を守っていく責任があります。

基地は「百害あって一利なし」、基地移設断固反対を強く訴えて調査報告と致します。



牧草地169haで、1戸あたり平均耕地面積70aで、農業産出額は115億円、花卉36億円、養豚23億円、さとうきび11億円、野菜12億円、肉用牛11億円となっている。さて、ハウスパイヤについて報告いたします。

読谷村のパイヤは、国の補助事業により、平成5年及び平成12年に青果用パイヤの生産施設を導入し、生産を行っています。読谷村では、島尻マージ土壌を活用した、芋・きび・菊に続く有望品目として、産地協議会を設置して生産振興に期待をしております、平成12年度に農業生産体制強化総合推進対策事業の

パイヤ協働栽培施設導入で、栽培技術指導講習を中部農業改良普及センター、JA中部地区営農センターによる指導を受けながら、植付品種は「サンライズソロ」という、ハワイで交配し育成された品種で、赤みがかったオレンジ色の果肉で外観はなめらか、果実は硬く洋梨型、平均果実の重さは430g〜630g程度、糖度は12度〜17度、栄養成分はタンパク質分解酵素「パイニン」、ミネラル・ビタミンC、A、B1、B2・食物繊維・葉酸など豊富である。栽培管理は、土づくりを5月上旬に行い、5月〜6月に自家採取の種子を使用し、7

月に定植し9月～10月着果(人工授粉)、4月に収穫。ハウスの温度管理について高温期(30℃以上)は、高温対策で天窓を開けたり、ハウス側面谷間換気に努め、遮光ネットやかん水、葉水の実施。また、ハウスの低温期(25℃未満)は、低温対策として最低14℃以上の温度管理を目指した、ハウス開閉による保温管理をし、昼夜の温度差にも注意をしているようです。特に、パイヤ栽培での特徴としては、倒伏作業、定植から約3ヶ月(樹高1.4m×1.6m)が適宜、ハウス内にうず巻き状に倒して行く方法(トルネード栽培)をとっており、女性1人でもできる方法を農家別で色々な形で行っているようです。このハウスでは幹の先端部にペットボトルに水を入れてぶら下げる等、色々と工夫しているようです。出荷先は、JAおきななどで1kgあたり平均200円前後で取引されているようです。視察農家の森根さんのハウスは、今年は花卉や他の作物と重なり、パイヤの管理が充分で、収穫も大きく減ったということでした。

栽培技術や方法等は、充分

な管理が必要であることを感

じました。

## 辺野古地区調査報告

○(発表者:上木 勲 議員)

鳩山総理大臣が5月末決着の腹案を正式に公表するとして、5月28日午前1時伊仙町議会全議員と事務局職員は、計画していた農業と米軍基地現地調査研修するため沖縄に出発致しました。

辺野古テント村での実状報告を致します。

梅雨時の激しい雨の中現地に着し住民の方々に迎えて頂きました。先ず常議長から訪問の挨拶を行い、交流会を始めました。次に私から徳之島の現状報告を要旨次の通り行いました。

①鳩山内閣は地元徳之島三町行政には何等正式な打診・連絡も無いまま本土在住の島出身者や賛成派住民を鹿児島市に呼び寄せ秘密会を行い、世論誘導の策略を巡らしていること。一方私達は「徳之島への米軍基地移設反対協議会」の組織を徳之島の総ての団体と、三町行政組織が一体となつて立ち上げ、学習会と

末端下部組織の確立を急ぎながら、決戦臨戦態勢を備えています。

②日米政府が国策として、豊かな辺野古沿岸のリーフを埋め立てて軍事基地を建設し、そこに普天間基地を移転させる事業計画を形振り構わず、金と国家権力の両刃で押し付け強行している。この理不尽な計画を阻止、白紙撤回させる為に1997年以来13年間も体を張って、無手で抵抗闘いつづけてこられた辺野古住民の皆様方の姿が、今私達に大きな勇気と希望を与え励みの力となっている事に感謝致します。

③米軍普天間基地を辺野古と徳之島に分散移設する計画案が日米合意され、昨日、日米共同声明として発表された、この歴史的危機の時宜に、伊仙町議会は皆様から活動教訓を学び、共に連帯結束一丸となつて、これからの運動に活かしていきたいとの思いで参りました。徳之島にも、辺

野古にも軍事基地は造らせない。基地のたらい回しではなく、基地白紙撤去・軍縮をスローガンに憲法9条の理念に基づき「奄美・琉球地域平和実践宣言」を、ここ辺野古テント団結村から、国の内外全世界に向けて発議しようではありませんか。

④ここまで話した時に会場前列に座っておられた辺野古命を守る会、会長 嘉陽宗義氏88才が突然ふらつく体を杖でささえのめりこみながら立ち上がり今日は病院に行く日だが行くのも取り止めた。こんなに感動・感激した事は無い。ここには全国から毎日マスコミ関係者、個人団体等多数訪れるが「連帯して共に闘う」と言われたのは今回が初めてだ、伊仙町議会の皆さん、ありがとうございますと涙を流しながらの感極まったご挨拶を頂き、参加者全員が心一つになつて感涙共感致しました。

⑤続いて名護市議会議員の

琢磨様とヘリ基地反対協議会代表安次富様から次の様な実践報告がありました。女性力ヌー隊による海上ボーリング調査阻止、防衛施設庁前座り込み、キャンプシユワブ包囲人間の鎖行動、沖縄ジュゴン訴訟アメリカで勝訴、基地容認北部振興策に対する地元負担金や建造物の維持管理の財政負担で財政は破綻死守前、振興策で地域が悪くはなつても良くなることは無いのとこのとでした。

⑥さらに命を守る会会長 嘉陽宗義氏から自らの南方従軍中死線をさまよった体験を語りながら、議員一人一人に貴男の子供をイラクやアフガニスタンへ兵士として送れるかと詰問、基地は戦争する拠点であつて、戦争になると真つ先に攻撃を受ける事になる。『ふる里は宝だ』地域を思う心愛する心に誇りをもつて子供孫達に引継ぐのが最善の財産ではないのか、との訴えに一同うなずくばかりでした。

最後にふりかかる破壊の災難を撃退勝利の日まで共に闘い抜く事を誓い合い団結交流会を終わりました。

# 第53回奄美群島市町村議会議員大会(大和村会場)開催

## ～来年の群島市町村議会議員大会は伊仙町開催で決定～

去る5月19日に、大和村において第53回奄美群島市町村議会議員大会が大和村体育館で開催されました。大会では、自治功労者表彰式や奄美群島選出の国会議員並びに県議会議員による国政と県政報告が冒頭に行われ、その後徳之島3町提出議題の「緊急用ヘリポート設置について」を初め、各群島から提出された議題について、県議会議員の皆さんが懇切丁寧に応答されました。

また、群島議会議長の提案である「鹿児島地方法務局出張所の存続について」群島議会議長会を代表して常陸之議長が朗読いたしました。

最後に、奄美群島全議員の全会一致によつて、「奄美群島振興開発の推進に関する特別決議」、「米軍普天間基地の徳之島移設に反対する特別決議」が決議されました。



議長会を代表して議題を朗読する常議長

て、「奄美群島振興開発の推進に関する特別決議」、

「米軍普天間基地の徳之島移設に反対する特別決議」が決議されました。

## 議 会 の う ご き

平成22年4月

- 6日 小学校入学式(町内小学校)
- 7日 戦艦大和を旗艦とする戦没将士慰霊祭(大田布岬)
- 9日 議会広報編集委員会※5月号(議会委員会室)
- 14日 大島地区議長・事務局長合同会(奄美市)
- 18日 米軍普天間基地徳之島移設反対1万人集会(徳之島漁港)
- 20日 議会広報編集委員会※5月号(議会委員会室)
- 23日 水問題現地調査・農業振興計画に伴う事業説明会(町内)
- 25日 米軍基地徳之島・馬毛島移設反対集会(鹿児島市)
- 26日 県政説明会及び県庁奄美会員との懇談会(鹿児島市)
- 27日 奄美群島振興議員連盟との意見交換会(鹿児島市)
- 5月
- 1日 伊仙町地域女性連絡協議会総会(総合体育館)
- 10日 全員協議会(議会委員会室)
- 12日 離島関係町村議会議長研修会(鹿児島市)
- 13日 常任委員会研修会(鹿児島市)
- 14日 新人議員研修会(鹿児島市)
- 19日 第53回奄美群島市町村議会議員大会(大和村)
- 22日 米軍基地移設反対経過報告、対話集会(総合体育館)
- 26日 奄美群島航路対策協議会(奄美市)
- 28～30日 米軍基地調査・農業関連所管事務調査(沖縄県)
- 6月
- 4日 徳之島三力町議会議員連絡協議会役員会(徳之島町)
- 8日 第2回定例会告示
- 9日 議会運営委員会※定例会告示に伴う(議会委員会室)
- 10日 徳之島地区防犯組合連絡協議会(徳之島警察署)
- 15日 第2回伊仙町定例会開会(議場)
- 17日 米軍普天間基地調査及び農業関連所管事務調査報告会(中央公民館ホール)
- 18日 第2回伊仙町定例会閉会
- 伊仙町商工会理事との意見交換会(町内)

※議会の動きは4月～6月末日までを掲載してあります。

## 編集後記

普天間基地移設問題、そして口蹄疫問題と私達島民にとっては不安な日々が続いている昨今ですが、今回議員14名と事務局2名(計16名)で沖繩へ農場調査や農家との意見交換、普天間基地・辺野古地区の現地を調査し、6月議会中には、町民の皆様方へ報告会を持つ事ができました。

これからも議会活動を通して、町民の皆様の声を大事に頑張っていきたいと思います。またこれから、暑さも厳しくなっていくしますので、お身体には充分気をつけられ、そして「徳之島に基地は絶対にいらぬ」という決意で町民の皆様と議会も一致団結して頑張っていきたいと思います。

(文責 伊藤 一弘)

### 議会広報編集委員会

- 委員長 美島 盛秀
- 副委員長 清水喜玖男
- 委員 琉 理人
- 委員 前 徹志
- 委員 伊藤 一弘